

ひがしのでまる ちとせ ごてん かいいたい
③東出丸・千歳御殿の解体

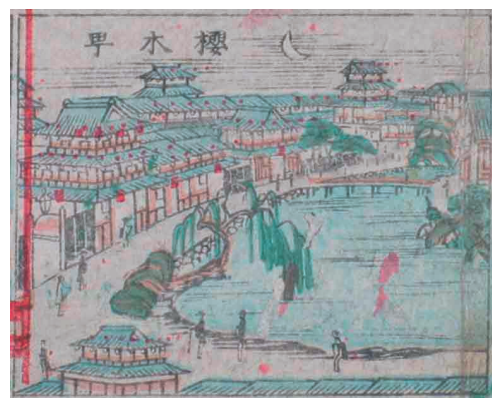
ひがしのでまる さんのまる どうよう はら さ ち ずさんしょう
 東出丸は、三之丸と同様に払い下げられていったようです（P2の地図参照）。

ちとせ ごてん いんきよ はんしゅ す ち ずさんしょう めいじ ねん ほんしゅいつ
 千歳御殿には隠居した藩主が住んでいました（P2の地図参照）。しかし、明治4年に藩主一
 か どうきょう うつ よくとし けん めいれい かくち ち げいしょうぎ かしざしき ゆうかく
 家が東京に移ると、翌年には県の命令により各地に散らばっていた芸娼妓・貸座敷（遊郭）が
 あつ ちとせ ごてん いこう と こわ あら
 ここに集められることになり、千歳御殿の遺構はすべて取り壊されてしまいました。新たにで
 かんらくがい さくらぎちょう なづ
 きた歓楽街は桜木町と名付けられました。



ちとせ ごてんあと
 千歳御殿跡

こんなこともありました その3
 ちとせごてん しきち さくら おお う
 千歳御殿の敷地には桜が多く植え
 られていたことから、それにちなんで
 さくらぎちょう なづ
 「桜木町」と名付けられたといわれます。



めいじ ねん とやましがいず えが さくらぎちょう ようま
 明治20年の富山市街図に描かれた桜木町の様子。

このように、さんのまる にのまる ひがしのでまる ちとせごてん つぎつぎ かいいたい すす しがいち いったいか すす
 三之丸、二之丸、東出丸、千歳御殿は次々と解体が進み、市街地と一体化が進
 なか ほんまる にしのまるぶふん のこ りゆう とやまけんちょう かんけい なに
 んでいきました。こうした中で、本丸と西之丸部分が残された理由、富山県庁との関係とは何
 なのでしょうか。それでは見てみることにしましょう。